

# 藤枝市の男女共同参画推進事業所の紹介

「仕事と家庭の両立に配慮しながら、男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる事業所を紹介します。」

## 株式会社ダルトンエ芸センター

認定日 令和3年3月26日  
社員数 57人（女性15人）

研究施設や学校などの教育施設で利用する実験台や流し台、調理台等の専門メーカー。多様なニーズを満たす製品づくりで生産量日本第1位を誇ります。社長自らが社員一人一人と面談し、意見を吸い上げ働きやすい環境づくりに取り組んでいます。



### ●ダイバーシティマネジメントにより多様な人材を積極的に登用

- 女性や外国人もやる気と能力があれば、重要なポストに配置しています。
- 女性の正規社員6人の内、3人を管理職に登用しています。

### ●ワークライフバランスを目指した働きやすい環境づくり

- 育児や介護を抱える社員が休暇を取りやすい雰囲気を会社全体で作っています。
- 業務内容を固定せず、突然誰かが休暇を取得しても対応できるようにしています。

### ●教育訓練休暇制度の導入

- 能力向上を目指す社員の知識や資格の取得を支援するため、有給休暇とは別に5年で5日間の休暇を取ることができます。



## 編集後記

男女平等の基準と言われるジェンダーギャップ指数は、日本は世界156ヵ国中120位。一方、幸福度についてのある調査では、日本は世界トップレベルで、しかも女性の幸福度が男性を上回っています。相関しない結果に首を傾げると共に、理想的な男女平等の社会とはいったい何なのか、考えさせられます。

今回の座談会を通じ、若い学生の皆さんにも男女で意見や感覚に相違がみられ、無意識の中にも根付いてしまっている男女の問題があることが伺えました。しかし、意見を交わす中で、「性別も個性のひとつと捉え、個性や特性を大切に活かしていく社会」を望む声も多く聞かれました。

以前は看護婦や保母さんと呼ばれていた仕事や、看護師や保育士など男性も担う職業に変化するなど、男女のあり方や役割は変わりつつあります。また、夫婦共働きがあたり前の時代になりましたが、社会全体としては必ずしも女性が活躍できる状況には至っていません。「男女差別」という言葉が死語になり、概念から消え失せる時代が来ることを切に願うものであります。

らんらん編集委員 杉山孝慶

情報誌「Run らんらん」は、市民から公募した編集委員が企画・編集しています。

編集委員 荻原/木村/杉浦/杉山/鈴木

## 男性相談・女性相談

自分のこと、夫婦・家族のこと、仕事のこと。ひとりで悩まないでまずは気軽に相談してみませんか。今まで、年代や回数を問わず、多くの方が自分の悩みを相談しています。

相談予約番号 **054-643-3198**  
(男女共同参画・多文化共生課)

相談日（相談時間は1人45分以内）

①13:30～、②14:30～ ③15:30～

女性相談 毎週火・木曜日（対面・電話）

場所：市役所西館4階 相談室

男性相談 毎週1回（曜日未定）（電話のみ）

※男性相談は令和4年4月より実施予定です。

男女共同参画社会づくり情報誌  
**Run ♥ らんらん**

No. 24 2022.2.20

この情報誌の感想をお聞かせください！

この記事の感想や自分が考える男女共同参画について教えてください。アンケートにお答えいただいた方に抽選で藤枝の特産品を進呈します。※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



【発行】藤枝市男女共同参画・多文化共生課  
〒426-8722 藤枝市岡上山1丁目11番1号  
【TEL】054-643-3198  
【E-mail】danjo@city.fujieda.lg.jp



男女共同参画社会づくり情報誌  
**Run ♥ らんらん**

# 男女って不平等？

## 大学生が考える男女の問題

コラム「座談会を終えて」

藤枝市の男女共同参画推進事業所の紹介

編集後記

2022.2.20

vol.24



# 大学生が考える 男女の問題

2021.9.17  
オンライン  
開催



男女の問題は様々なところでみられます。そこで、大学生に結婚や性別での平等・不平等に関して思うところを語ってもらいました。ファシリテーター（進行役）は「NPO 法人わかものまち」事務局長の土肥潤也さんがつとめました。

参加者  
6名

宇佐見史花（静岡福祉大学）、岡崎愛実（常葉大学）、荻原和也（静岡産業大学）、小松優菜（静岡県立大学）、中島綾杜（静岡県立大学）、府川駿介（静岡大学）

## 割り勘ってどう思う？

**土肥** まず最初に身近な問題として、割り勘について考えてみたいと思います。ある調査によると、「男子が全額払う」あるいは「多めに払う」と答えている人が全体の7割です。また、奢る理由については、「好意を持ってほしい」というのが1位で、逆に割り勘派のトップは、「男女平等にしたいから」という意見です。

そこで、まず皆さんに伺いたいのは、男女で一緒にご飯を食べに行く時に、男性が多く払った・払われた経験がありますか。

## 奢ってもらっても、相手の男性を「わぁ、素敵」とはならない！

**小松** 私は割り勘派なんですけど、高校生の時に二人で食事に行って、相手に「払うよ」と言われてしまい、こちらが出しにくい感じになってしまいました。同じ高校生なのに無理しているように見えて、ちょっと嫌だなと思いました。

**中島** サークルの新入生歓迎行事で、「女子は払わなくていいけど、男子は払ってね。」と言われたことがありました。普通にご飯に行く時は、多く払って気を使わせるのが嫌なので基本的に割り勘ですね。

**府川** 男性の奢る理由に「好意を持たれたい」というのがありますが、女性の方々は払ってもらったことで好意を持つのか知りたいです。

**小松** 相手が社会人で凄く稼いでいるのなら、まだ納得出来るんですけど、学生だったら…、そんなに好意は持たないですね。逆に気を使うので。

**岡崎** 私も、相手が同じようにアルバイトしている学生だったら、奢ってもらうのは気が引けるので、あまりご飯行きたくないですね。そんなに無理してほしいとは思わないです。

**宇佐見** 特別な日などに奢ってもらうのはちょっと嬉しいですけど、普通の時に払ってもらって、「わぁ、素敵」とはならないと思います。

**府川** 大学1年の時、ホント見栄張って、もう財布悲鳴上げているのに全部払ってましたね。相手がお手洗いに行っている間に会計して、「あぁ、払っといたよ」みたいに。今はそれが逆に気を使わせていたのかなと思います。

**荻原** 確かに、全額ではないですが、千円の桁は全部出していた記憶はあります。まぁ、見栄を張っていたと思います。

**中島** 府川さんみたいにトイレ行っている間に払ってみたいという願望はありますね。それをやっている自分ってカッコいいなって、自己満足みたいなのところはありますよね。



## お金で関係が崩れるのは悲しい 最終的には相手のためを 思ってやれば良い

**土肥** 男性の自己満足を満たすためだったら払わせとけば良いという考え方もありますね。男女平等を考えた時に一番良い形って何でしょう。

**小松** もし、相手も自分も変わらない状況だったら割り勘にしたいですが、端数まで完全に割り勘だと気まずいので、男性が少し多く払ったら、そのお返しとして何か返すようにするとかはアリかなと思います。

**府川** お金で関係が崩れるのは悲しいので、最終的には相手のためを思ってやる行為であれば良いなと思いました。

## 結婚したい？

### 男性陣は結婚したい！ 女性陣は、しばらくは仕事、良い人がいれば結婚したい

**土肥** 何歳までに結婚したいとか、キャリアプランとして考えたりしていますか。

**荻原** 今じゃなくても、最終的に結婚すればいいかな。なんか孤独は嫌なので。

**岡崎** 良い人が居ればしたい。別に子供が欲しいとは思わないので。

**中島** 理想は25・26歳あたりで結婚したい気持ちはあります。親の結婚が多分そのくらいだったと思うので、勝手に自分の中にイメージがあります。

**宇佐見** しばらくは仕事をしたいと思うので、中島さんの理想より後でいいかなって思っています。

**府川** 28歳くらいで結婚したいと思っています。転職とか考えると、老けすぎず若すぎず一番良い時期なのかなと。

**小松** 結婚したいなと思える人がいればしたいですが、結婚してもしなくても自立できるくらい自分で稼ぎたいので、仕事も大事にしたいです。

### お互い働いて家事も二人で！ 助け合って生活していくのが結婚！

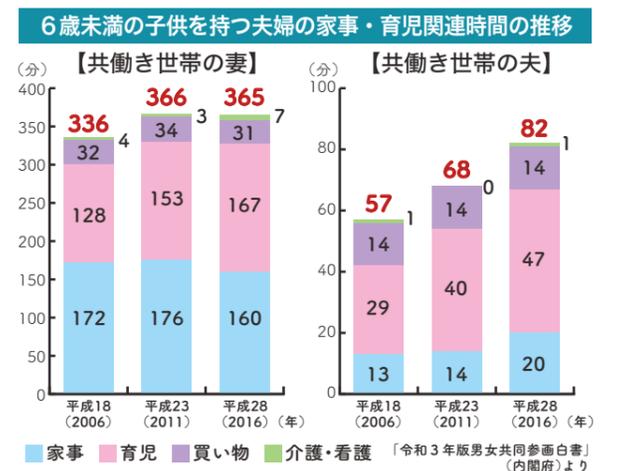
**土肥** 理想の夫婦の関係、パートナーシップについて、考えていることがあれば話してもらいたいと思います。

**岡崎** 結婚するなら自分も働きたいと思っているので、両方働いて家事は手伝ってくれる人がいいなと思っています。

**府川** 自分は、二人で助け合いというか、相手のことを考えてやってあげようとか、そういう気持ちが大事だと思っています。お互い働いて助け合って生活していくのが結婚なんじゃないかと。

**小松** 私も、自分も働きたいし相手にも働いてほしい。やはり家事ってお金が発生しない仕事なので、お互いに助け合ってやっていきたい。

**荻原** 相手が家事をしたいと言うなら、自分はちゃんと働いて稼ぐ。逆に相手が、働きたいから家事をやってくれと言われてたら、それはそれで相手に合わせて生活すればいいかなと思っています。



**宇佐見** 私は将来、高齢者の施設で働きたいと思っているので、夜勤とか早番とかをしても良い関係になるように、ちゃんと話し合って決めていきたい。

**中島** お父さんが働いて、お母さんが専業主婦というイメージがありますね。でも、僕は家事はひと通りできますし、むしろやりたいぐらいで、そこは相手に合わせます。また、職場を選ぶときには、育休が長い期間取れるようなところに入りたいとは思っています。

## 育休が取れる会社に就職したいが、キャリアで不利にならないか心配

**土肥** 育休後の復帰というのは大きな社会問題になっています。復帰後の給料がアップしなかったり、非正規雇用になったりとか、もし子供ができたならその辺のことを考えますか。

**岡崎** 企業にインターンシップに行って育休の話聞くのですが、ちゃんと復帰できるのか。子供を作ると一旦辞めないといけないのかなというイメージがあります。

**小松** 将来的に子供を産みたいと思ったときに、育休を取ることでキャリアで不利になることがないのか心配にはなりますね。

**宇佐見** 私もやはり、復帰した後の職場について、あらかじめ調べて就職するのが大事だなと思いました。また、出産したら仕事を一旦辞めて、子供に手がかからなくなったら、福祉の仕事をまたやろうと思いました。

**府川** 自分は子供が欲しいですが、付き合う前に話し合っておくべき内容なのかと思いました。就職する際には、育休が取れる会社に就職したいと思いました。

**荻原** 自分は、相手が生みたいなら、その希望に合わせるとします。出産すること自体は男にはできないので、それなら少しでも多く稼いだ方が良くかなと思います。

**中島** 子供は欲しいし、子育てにはどんどん参加したいと思っています。休日出勤や残業が多いと、一日子供の顔を見ることなく終わってしまうと思うので、職場選びの際には気をつけたいと思います。

## 「主夫やれっ！」て言われたら「喜んで！」でも社会的には男は働かなきゃなのかな

**中島** 女性の方に質問ですけど、女性側で十分収入があったとして、男性が主夫になることに抵抗や違和感などありますか。

**宇佐見** あまりないですね。もし自分にそれなりの収入があったら。

**小松** 私も自分に二人を養える安定した稼ぎがあるのなら特に何とも思わないし、家に帰って家事がこなされていたらすごく嬉しいですね。

**岡崎** 家事をやってくれるのは良いことですが、それなら別に独身でいいかなと思います。

**中島** 家事は好きなので主夫でもいいですが、やはり社会的には男は働かなければという感じはします。

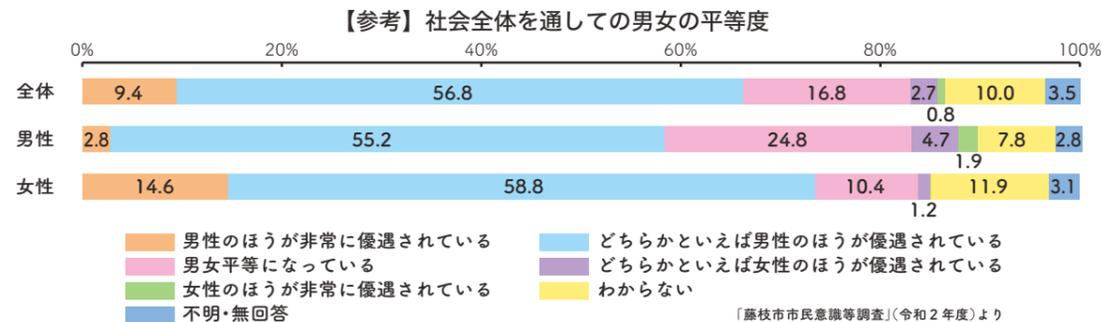
**府川** 家事も嫌いではないですが、それ一本というのは世界が狭まってしまうのかなと感じますね。

**荻原** 掃除とか嫌いではないので、「主夫やれっ！」て言われたら、「喜んで！」という感じですかね。

## 男女って不平等？

**土肥** 「割り勘」や「結婚感」について聞いてきましたが、皆さんは日常過ごしてきて、男性の方が優遇されているなど感じることもあるかななどについて、聞いていきたいと思います。

男女平等を語る時によく使われる世界的な基準であるジェンダーギャップ指数を見ると、日本は世界156か国中120位（2021年）でとても低い順位になっています。



## 昇進など仕事面で男性が優遇されているので、男女で収入に差がつく

**中島** ちょっと前のニュースですが、医学部の入試の時に女性という理由で男性と差別されたとか、就職面接で女性に対して結婚や出産について聞かれたらしいです。将来的に女性が仕事を辞めるかもしれないという認識があってこういう収入差が生まれたのかなと思いました。

**小松** 3年生で就活について考える機会が多いのですが、収入を見ているとほぼ100%男性の方が収入が高いんですね。レディースデーとか逆もありますが、人生において大きな選択をする時は、男性の方が優遇されていると、就活の場面では大きく感じました。

**岡崎** 普段生活していて差があると感じることはあまりないですが、社会に出ると女性の昇進が少ないので、収入に影響するのかなと思います。

**府川** 管理職に就くのは男性のイメージがあり、仕事の面で男性の方が優遇されているので、収入に差がつくのかなと思いました。

## 性別で役割分業されることなく、自分のやりたいことがやれると良い

**土肥** 皆さんは、ゼミやサークルで男性の方が優遇されていると思ったことがありますか。

**府川** サークルと違い部活では、サポートしてくれる女性の存在は、いてくれるだけで貴重でありがたいんです。女性をとて丁寧<sup>ていねい</sup>に扱って優遇していると感じます。

**荻原** 先生からの待遇は女性の方が良いイメージがあります。先生が男性だから、差があるのかなと感じたりします。

**土肥** 若い世代になるにつれ平等にしていこうという感覚はありますが、少し年上の人からすると男は外に出て、女は家にいてというのが当たり前みたいなことも聞きます。入試や収入の話以外に何か思ったことや体験したことはありますか。

**小松** 部活をしていた時に、重たい物を持つのは男子で、軽い物や細かいこと、掃除などは女子というように性別で役割分業がされていました。アルバイトの時は大体調理は男子でホールは女子でした。実際に「女の子は華があるから」と言われ、出入口を担当させられました。

**土肥** アルバイトや収入の話で皆さんはどういう状態が理想だと思いますか。

**中島** 男女ではなく、自分がやりたいという意見が尊重され、やれるようになると良いと思います。



## 個人の特性や個性が大切にされる社会が理想

**土肥** 男性の方が身体的に有利な状態にあるというのが前提の中で、理想の男女平等のあり方というのは、どういう形になっていけばいいのかわからない。男女平等が実現されている社会とはどういう社会なのか、皆さんどう思いますか。

**中島** 男女という括りではなく、その人個人の特性を見て、その人たちが自分の意思で選択できて周りもそれを否定しないで受け入れられる、そんな社会になっていくと良いと思います。

**府川** 同じ意見です。男だから女だからという意識があること自体、もう不平等だと思います。その人からできることはないのかなと考えていけば不平等はなくなっていくと思います。

**小松** やはり前提として男だから女だからで仕事を分けるのではなく、その人の能力が評価されるような社会になれば良いと思いました。

**宇佐見** 性別も個性のひとつだと思いますが、性別が優先順位の上位にあると男性だから女性だからとなって良くないと思うので、私はこういう人ですという個性が前面に出て、性別の優先順位が下に行き、その個人の能力が評価されるようになれば差別もなくなると感じました。

**岡崎** 体のつくりで男性が女性より重い物が持てるということもありますが、男性でも苦手な人はいるので、男女の区別ではなくトータル的に見て「できる人・できない人」というようになれば差別がなくなるのではないかなと思います。

**土肥** 男性の方が収入面等で優遇されていると感じつつも、少しずつ社会も変わりつつあるという気もします。皆さんの話から、私も性別という括りではなく、その人の個性が大切にされていく社会にどうしたらなっていくかな、ということを考えたり感じたりしました。

# 振り返り ～座談会の終わりに～

[ column ]

## ～座談会を終えて～

NPO法人わかものまのまち 事務局長  
一般社団法人トリナス 代表理事

### 土肥 潤也

今回、大学生が考える男女の問題ということで、座談会の進行を担わせていただきました。私はNPO法人わかものまのまちの事務局長をしていて、普段は高校生や大学生世代のまちづくり参加活動に取り組んでいます。

多くの高校生や大学生と接する中で、この数年の間に男女の関係性や価値観が大きく変化していると感じます。また、LGBTQ+（性的少数者）についての理解が深まっているように、男女と分けることができない時代にもなっています。

### profile

焼津市在住  
みんなの図書館さんかく館長  
内閣府 若者円卓会議 委員  
内閣官房 こども政策の推進に係る有識者会議  
(こども家庭庁に関わる会議) 臨時委員



**土肥** 今日は男女の問題ということで話し合ってきました。全体を通じての感想、気づき、疑問などありましたらお願いします。

**岡崎** 根付いているイメージは簡単には取り除けないですね。女性が今まで差別されてきたから優遇させようとレディースデーみたいなものを作っても、今度は女性ばかり、みたいになるので…。やはり長い時間掛けないとちゃんとした平等の社会になるのは、難しいのかなと思いました。

**中島** 同じ世代でも男女で意見の違いもあります。男性同士、女性同士の中でも意見の違いがあって、人それぞれいるんな価値観があるから、自分だけの価値観で通そうとするのは良くないなと思いました。

**荻原** 今回色々な方の意見を聞いて、自分の考え方とこんなに違うんだなと新鮮でした。あと割り勘をちゃんとやろうと思いました。

**小松** 私も皆さんの話を聞いているんな意見があるな、と思いました。今後社会に出ていく私達の世代で、ちゃんとこのような意見を交換することが大事なんだなと思いました。男女じゃなくて、相手がどう思っているのかなど、相手の意見を尊重するのが一番大事のかなと思いました。

**府川** 今回、女性側の意見が参考になりました。同年代の中でも色々な考え方があり、男女の区別なく、一人一人に寄り添った意見や自己主張ができる社会になれば良いなと思いました。

**宇佐見** 今日は参加してみて、なるほどなと思ったり、気づきがあって面白いと思いました。男女の差別の問題は、割と身近にあるなと思ったので、「自分はこうしたい」と、あらかじめ考えて生きていきたいなと思いました。

**土肥** 男女の関係や差別について、若年層の段階で根付いてしまっている文化があると思います。もっと早い段階で話をしたり友達同士で意見交換したりするのも良いと思います。今日は、貴重な意見をありがとうございました。

注) この記事では男女それぞれの考え方をわかりやすく伝えるため、男女別で色分けしました。

例えば、座談会の最初のテーマで扱った「割り勘」について言えば、少し前までの世代にとって、男性が多く支払い、女性は奢られるものは当たり前のことだったように感じます。しかし、そうした行為自体が、男女の不平等を示すようになっており、**若者と接する大人世代は価値観のアップデートをしていかなければいけません。**

インターネットが急速に普及し、個々がSNSなどを通じて自己表現できる時代になった今、多様な価値観が発信されるようになりました。きっとこれまでも男女の不平等や自分自身の性について違和感を持っていた人はいたと思います。そうした違和感を自分の中にとどめておくのではなく、外に発信し、同じような価値観のひとからの共感も得られるようになってきています。

思わず、「いまの若い人は…」と口走ってしまうこともあるかもしれませんが、「違う」ということを前提に若者を理解していかなければ、世代間の分断が起こっていただけです。社会を取り巻く環境は常に変化しているので、**自分たちの当たり前を問い、彼らの背景を想像することが求められています。**これは若者たちにも言えることで、「大人は理解をしてくれない」とすぐに諦めてしまうのではなく、**理解してくれない背景になががあるのかをイメージすることも重要です。**

今回の座談会での1番の学びは、**男女の問題について意見交換をする機会こそが、お互いの理解を促進するということでした。**割り勘、結婚観、仕事観など、潜在的に思っている口にする場はほとんどありません。参加した大学生からもたくさんの学びがあって、またやりたい!との感想を聞くことができました。この記事をきっかけに多くの場で男女の問題についての意見交換が広がり、男女の間はもちろん、世代間での分かり合えなさを埋めていく一助になれば幸いです。

